

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症もようやく終息して、宴会がかなり増えてきている。また、世の中の景気が良くなっている印象もあり、全ての物価が上がってきたことで、ようやく普通に仕入価格の値上がり分を価格転嫁できるようになったことが有り難い。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・3か月前に入っていた今月分の宿泊予約に比べ、現在入っている3か月後の予約数の方が圧倒的に多い。地域のミニマラソン等のイベントも発生している。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・1人暮らしの人が亡くなって、親族が他県から来るという人が増えている。何十年ぶりに会うという人たちが何組もいた。この流れはもう止まらない。
	○	商店街（代表者）	・世間では景気が良くなったという話だが、目の前の販売等の様子をみていると、そう極端に変わったことはない。ただし、当店も含めて何となく良くなる雰囲気にはなってきている。
	○	商店街（代表者）	・客の様子からは旅行願望が強く、ゴールデンウィークに向かって気候が暖かくなるにつれ、人出は期待できる。
	○	百貨店（経理担当）	・一部企業で給与のベースアップが期待できるなか、緩やかに良くなるとみている。当県中小企業にも波及すれば、更なる景気回復の鍵になると考える。
	○	スーパー（経営者）	・4月中旬には当地区の桜祭りがあり、おでん、ラーメン、唐揚げ、たこ焼き等を当店で作り、納品販売する。アフターコロナ2年目の開催で、前年は手探り状態だったが、今年は前年実績を超える販売量を目指して臨みたい。
	○	スーパー（副店長）	・天候が暖かくなり、行楽など個人消費も増えるとみているので、期待を込めてやや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・寒いときはどちらかという温かい商材の売行きが良かったが、これから気候がよくなり、暑くなると、冷たい商材の需要が増えるので、売上の的にはやや好転する。
	○	コンビニ（経営者）	・ゴールデンウィークや夏休みの行楽需要が増えると予想している。
	○	コンビニ（経営者）	・人の移動が落ち着き、多少は回復するのではないかと。経済や政治の状況をみると、期待するほどは上がらないとみているが、今よりは良くなる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・世の中全体の流れで、給与のベースアップが行われている。これが消費に回ってくれば、経済活動が活発になる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・現在、冬用タイヤからの交換等が遅れている分、この先は例年以上の来客が見込まれる。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・前年と比べても、今月は物の動きが良かった。贈答品も非常に多く、小売も増えている。動き自体は良いものの、飲食店では、物価が高くなったせいか店で酒を飲まないという話をよく聞く。その反面、自宅消費は非常に堅調に伸びている。今後、秋に向けて日本酒でも値上げがありそうだが、今のところは順調に推移している。
	○	高級レストラン（経営者）	・コロナ禍以降、接待や宴会等の自粛が続いていたが、徐々に新型コロナウイルス感染症発生前に戻り始めている。
	○	一般レストラン（経営者）	・大きな期待感で一杯である。地域のホテルが改名し、新年度にリスタートする等の好材料もあり、当社グループによる新産業への取組等の機会を生かしていきたい。
○	観光型旅館（経営者）	・暖かくなると、関東方面からの客が動き出すため、現状よりはやや良くなると考えている。	
○	都市型ホテル（スタッフ）	・北陸応援割の影響もあり、予約状況は良いが、終了後の反動等も考えられ、懸念がある。しかし、例年以上に先の予約状況は早く動いている印象であり、週末を中心としたイベント等も例年以上に多数あるため、先の状況については良い方向で推移している。	
○	タクシー運転手	・4月に入ると暖かくなるので、歓送迎会やお花見が出てきて、少しは良くなるのではないかと。	
○	遊園地（職員）	・パブリシティの獲得や、イベントの開催等、積極的な集客施策の実施や情報発信を行い、より多くの客の来園を期待する。	

□	百貨店（営業担当）	・現状、今までよりは多少賃金は上がっているのかもしれない。やや良くなってはきているが、これから先、更に物価の上昇等があるので、良くなるというよりは現状維持ではないか。
□	百貨店（店長）	・大手百貨店は非常に好調のようだが、当店のような地方百貨店では、インバウンドの影響もなく、厳しい状況が継続している。今後、大きく情勢が変わる要因も見通せない。
□	スーパー（経営者）	・中小企業の賃上げによって、消費意欲が変わってくると思う。
□	スーパー（店長）	・値上げ前のまとめ買いもあったので、すぐに消費動向が改善するとはみられない。
□	コンビニ（経営者）	・物価高の影響なのか、客の買物は弁当や軽食というよりもやや安めの冷凍食品やカップラーメンになってきている。1～3月は前年より売上が悪くなっていることから、これからは変わらないとみている。
□	コンビニ（店長）	・特にこれといった良くなる材料もなく、株価が大分上がっているという話も当店には余り関係ないので、特別変わっていくようなことはない。
□	衣料品専門店（経営者）	・予測がつかない。
□	家電量販店（店長）	・少子高齢化などの影響で、日ごとに市場が減少傾向にある。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くならないように、変わらないでほしいという意味での変わらないである。
□	スナック（経営者）	・今月は異動時期に当たるため、何かと飲みに出る機会も多いと想定していたが、そうした予約が全く入らず、いつもの年とは少し違うとみている。加えて、連日のようにあらゆる物が値上がりし、当店も値上げをせざるを得ないため、客に負担してもらった金額がどんどん増えており、来店回数が減ってくるのではないかと心配している。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・3月は勢いが良かったが、4月も北陸応援割が継続するので同じような勢いが続くのではないかとみている。ただし、これ以上の勢いはないとみている。5月のゴールデンウィークを境に、北陸応援割の終了後は下降気味になるのではないかとみている。
□	旅行代理店（副支店長）	・物価高騰や為替変動による影響で、徐々に客の動向に陰りが出ているようだが、旅行意欲は継続しており、申込みや受注は堅調に推移している。インバウンドの状況が気になるころではあるが、現状が継続すると考えられる。
□	通信会社（社員）	・大幅な加入増加は見込めないが、キャンペーンやコンテンツの充実を図って、現状維持若しくは微増に推移するようにしていきたい。
□	通信会社（社員）	・良くも悪くも横ばいで推移していくとみられる。
□	観光名所（職員）	・春闘は、大企業の満額回答が相次いでいるものの、すぐに地方の中小企業も追随するとは考えられない。また、相変わらずの労働者不足に憂えている。物価高の影響もあり、すぐには景気回復を実感できないのではないかとみている。
□	ゴルフ場（副支配人）	・物価上昇により経費が増えた分を、プレー代に転嫁することが難しい。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新年度、新生活の季節になり、歓迎会等の団体利用が増えてくれればよいが、新型コロナウイルス感染症発生前のように戻るとは難しいかもしれない。
□	設計事務所（職員）	・動きがなく止まっている物件が多く、すぐに進み出す状況ではない。
□	住宅販売会社（経営者）	・日経平均株価の最高値更新等の株高の影響や、大手企業を中心とした大幅な給与アップが、中古別荘の購入を後押ししている。こうした動きがもう少しは続くと予想している。
▲	商店街（代表者）	・閉店する店が目につくようになっている。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・現状では消費者の購入意欲は高まらず、業種によってはますます厳しい先行きである。
▲	コンビニ（経営者）	・今後も人口が少なくなるので、やや悪くなるのは当然である。
▲	乗用車販売店（経営者）	・受注残が減少しており、春の需要期以降は販売台数の落ち込みが懸念される。

	▲	一般レストラン（経営者）	・株価が上昇する一方、消費者にはその実感がないまま流れてきてしまっている。この先しばらくはこの状況が続くとみている。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・日経平均株価を中心とした大手情報関連企業の株価は高いものの、地方中小企業における実体経済での手応えはない。時短、賃上げ、配偶者控除据置、物価高騰等で、人手不足とコスト増加が同時発生し、対応できない中小企業は苦戦を強いられる。
	×	—	—
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体回復により良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・今の受注量や納期の様子から、この勢いが2～3か月程度は続きそうである。
	○	金融業（調査担当）	・製造業では、翌期から半導体関連の在庫調整解消に向けた兆しを期待する企業が多い。非製造業は観光面の需要増加を通じて、賃上げの動き、消費の押上げを期待する。
	○	金融業（経営企画担当）	・株価の上昇、マイナス金利政策の解除等の外部要因が、関係各所に好影響を与え、取引先へも波及するのではないかとみている。
	□	食料品製造業（総務担当）	・店頭での販売状況が改善されていないため、変わらない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・特注受注はいつも突発的であり、一時的に良好なものの、先行きの見通しは不透明である。他メーカーとのタイアップ等、新製品の展開に希望はある。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・大企業を中心とした賃上げにより、耐久消費財への支出増加を期待するが、円安による輸入コストの高止まりの影響が懸念される。
	□	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・今年に入り、1～3月の小売の店頭売上は低迷している。新年度を迎え、新作展やセール等を企画したくても、地金の価格高騰で魅力ある商材が集まらない。好転の兆しがみえてこない。
	□	建設業（経営者）	・物価の上昇が続き、更に金利の上昇もあり、景気はしばらくこのままの状態が続く。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・大手企業ではベースアップを含めた賃上げが行われるが、中小企業では厳しい状況となっている。そのため県内では節約志向がまだ強く、小売業の出稿量が増えて来ていない。北陸新幹線の延伸による好影響は一部みられるが、現在大きな量にはなっていない。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・現状では消費者の購入意欲は高まらず、業種によっては一層厳しい先行きである。スーパー関係は値上げをした分、買上点数が落ち込んでおり、全体的には良くない。
	▲	食料品製造業（営業統括）	・販売量が停滞している上に、酒税の増税や原材料の値上げで原価率が高まっており、経営状況は厳しい環境におかれている。
	▲	電気機械器具製造業（従業員）	・4月より材料の値上げが予定されている。度重なる値上げに対して価格転嫁が追い付かないため、収益悪化の状況が続いている。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・県内の企業向けの調査によると、2024年度にベースアップ等で正社員の賃金改善の見込みがある企業は67.5%と過去最高水準となり、今後の消費活動の活発化が期待される。また、半導体不足の改善により、関連する製造業での受注増加も期待される。今後もインバウンドを中心とした観光需要や消費拡大が期待されることなどから、やや良くなる。
	□	求人情報製作会社（総務担当）	・現状と大きく変わる要素がない。
	□	職業安定所（職員）	・ここ数か月は、求人数、求職数共に増減を繰り返している。
	□	職業安定所（職員）	・賃上げや価格転嫁が一定程度は進むと考えられるが、中小企業では大手のような大幅賃上げの実施にはならないことから、景気が浮揚する要因を見いだしにくい。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・輸出主流の業種以外は、業績により、ばらつきが目立っている。

	▲	人材派遣会社（営業担当）	・ベースアップの話は大企業のみで、地方企業はマイナスにしたいくらいの話である。駅前の飲食店は、ここ2年で100店舗閉鎖している。
	×	—	—